

大阪市水道局 ISO22000
水安全マネジメントシステム
(大阪市水道・水安全マニュアル概要版)

大阪市水道局



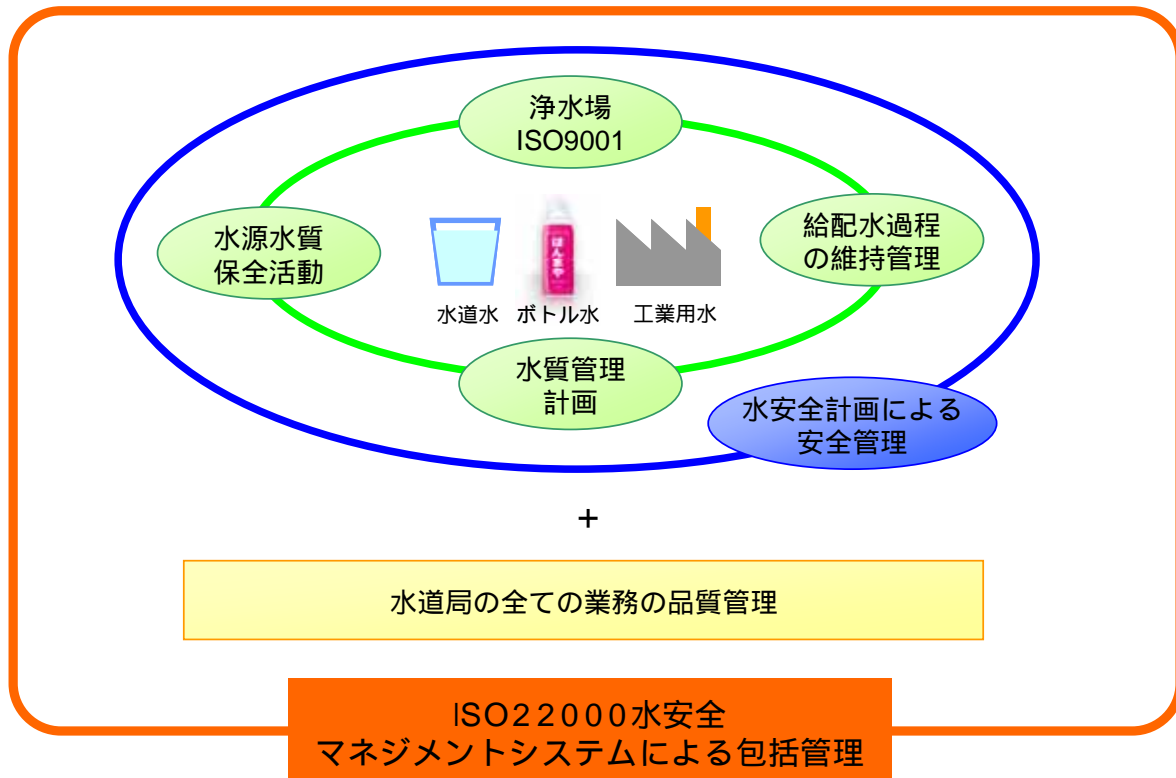
大阪市水安全マネジメントシステムの概要

大阪市水道局の使命は「より安全で良質な水道水をより安価で公正な料金でお届けすること」です。これを実現するため、水道局では、高度浄水処理の導入や浄水場における ISO9001 の認証取得をはじめ、水源から給水栓に至る各プロセスで様々な取り組みを行ってきました。

さらに、近年、食や水の安全性に関心が高まる中、水道においても、食品の衛生管理システムの国際基準である HACCP をベースに水道水の安全管理を行う「水安全計画」の策定が求められており、水道局においても、大阪市独自の水安全計画を策定したところです。

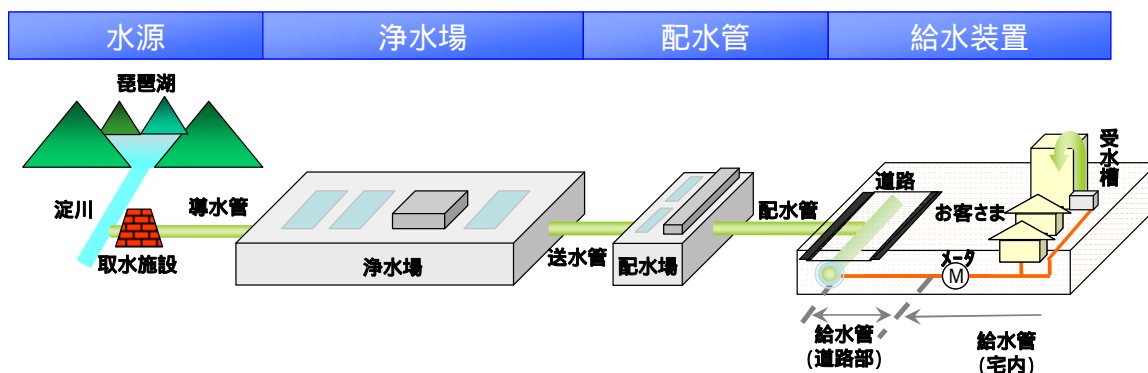
しかし、「より安全で良質な水道水を安定的に、より安価で公正な料金でお届けする」という使命を実現し、お客さまに信頼される水道であるためには、こうした様々な取り組み、さらに日常の業務も含め、包括的に管理できるシステムが必要です。

こうしたことから、大阪市水道局では、浄水場の ISO9001 をベースに、水安全計画やその他の様々な取り組みを統合し、大阪市独自の水安全マネジメントシステムを構築し、平成 20 年 12 月に、公営による水道事業体としては世界初となる食品安全管理の国際規格 ISO22000 の認証を取得しました。



水安全マネジメントシステムでは、水道水、工業用水、ボトル水のそれぞれについて、水源から給水栓までの全てのプロセスで発生しうる危害（ハザード）を抽出し、個々の危害について管理方法を定め、管理を行うことで、危害の発生を未然に防止し、水道水の安全性を確保します。

また、それぞれのハザードをリスクレベル等に応じて分類し、それに応じた管理レベルを設定することで、より効率的、効果的な安全管理が可能となります。



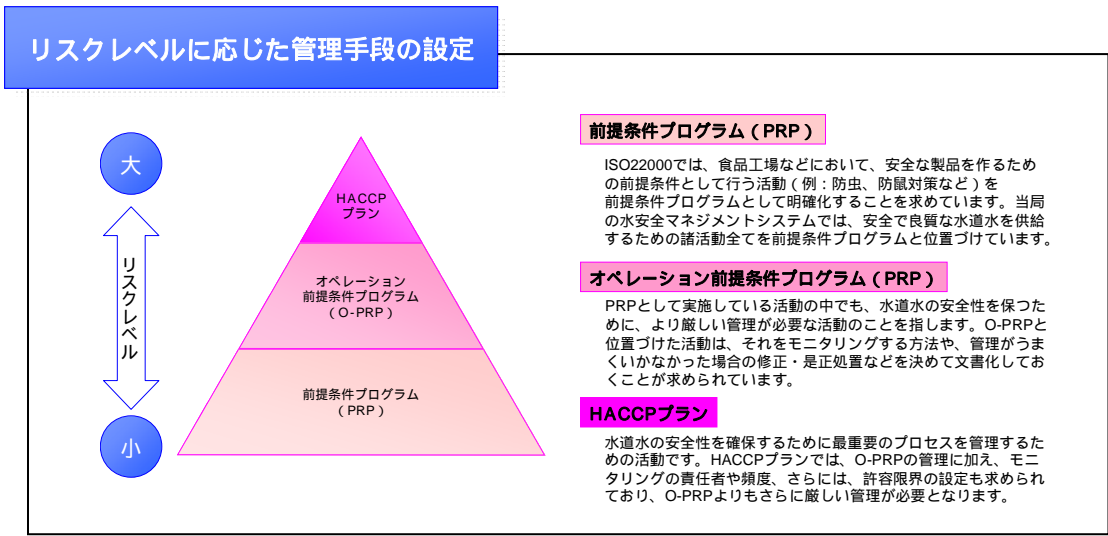
水源から給水栓までの全てのプロセスで発生し得る危害（ハザード）を特定



個々のハザードについて、リスクレベル等に応じて分類し、それに応じた管理手段を設定



効率的・効果的な安全管理



水安全方針

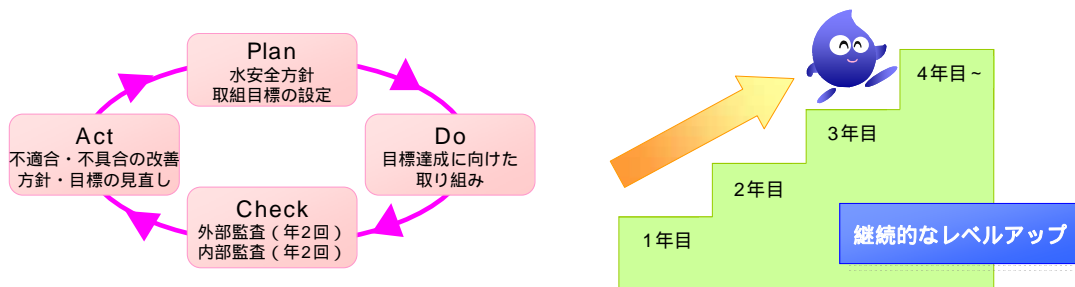
水道水の安全性、品質に対する取組方針として「水安全方針」を定めています。これに基づき、全部署で目標展開を図りながら水安全マネジメントシステムを運用することにより、高いサービス水準の維持・向上を図ります。

6つの基本方針

- 1 より安全でおいしい水道水を安定して供給します。
- 2 お客さまとの双方向のコミュニケーションの充実を図ります。
- 3 本市が培ってきた水道技術を高いレベルで標準化し、次世代への確実な技術継承を図ります。
- 4 法規制及び水道水の安全・品質管理に係る要求事項を遵守します。
- 5 継続的なシステムの改善に努めます。
- 6 水安全方針を公表します。

継続的改善

当局の水安全マネジメントシステムでは、ISO22000 認証機関による外部監査、内部監査を定期的実施することにより、運用状況や有効性の検証を行い、システムの見直し、改善を図ります。全局的にこうした PDCA サイクルを定着させていくことにより、水道水の安全、品質管理レベルの向上を図り、さらにお客さまに信頼される水道を目指します。



認証登録の内容

適用規格	ISO22000:2005
認証機関	ロイド・レジスター・クオリティ・アシュアランス・リミテッド
登録範囲	水道水及び工業用水の製造・供給及びボトル水の製造の管理及び販売
登録番号	YKA4004332/J
認証範囲	水道局全組織

参考

HACCP (Hazard Analysis and Critical Control Point)

食品の安全性を高度に保証する衛生管理手法の1つで、食品の製造過程において、原材料の受入から最終製品に至る一連の工程の各段階で発生する危害を分析(Hazard Analysis)し、その危害発生を防止することができるポイントを重要管理点(Critical Control Point)として定め、重点的に管理することにより、工程全般を通じて、製品の安全性を確保する手法です。

我が国では、平成7年に厚生労働省により、HACCP方式による衛生管理を法的に位置づけた「総合衛生管理製造過程の厚生労働大臣承認制度」が創設されました。

水安全計画

HACCP手法を水道水質のリスク管理に適用した計画で、水源から給水栓に至る水道プロセスの全ての段階で包括的な危害評価と危害管理を行うことが安全な飲料水を継続的に供給する点で有効であることから、平成16年に策定されたWHO飲料水水質ガイドライン(第3版)で導入が提唱されました。

ISO9001 (品質マネジメントシステム)

ISO9001は、製品やサービスを対象にした品質管理の国際規格です。

ISO9001では、以下の内容を一連のシステムとして構築し、トップ以下の全員参加で、PDCAサイクルに基づき改善を行っていくことにより、よりよい品質の製品・サービスを供給することができます。

- ・組織内の体制を整備し、プロセス・責任・権限(役割分担)を明らかにする。
- ・仕事の手順・ルール・基準を決める。
- ・決められた通りに確実に仕事をして、確実にこなされたかの記録を残す。
- ・定期的に監査を実施して不適合として指摘されたところを是正する。

ISO22000（食品安全マネジメントシステム）

ISO9001（品質管理マネジメントシステム）のマネジメントシステムをベースに HACCP システムを運用することにより、食品の安全管理を行うための要求事項を定めた国際規格で、2005年9月に正式発行されました。

従来の HACCP で十分でなかった PDCA サイクルに基づくマネジメント（継続的改善）の概念を導入するとともに、本来、HACCP を構築する際の前提となる一般的な衛生管理に係る事項についても、「前提条件プログラム」として必要不可欠なものとして、要求事項の中で明確にしています。

また、HACCP では認証を受けることができる業種が限られていますが、ISO22000 は農業も含め、食に関する全ての業種で適用可能な規格となっています。

お問合せ先

大阪市水道局工務部計画担当

〒559-8558

大阪市住之江区南港北 1-14-16 WTC ビル 8F

TEL 06-6616-5514 FAX 06-6616-5519

E-mail keikaku@suido.city.osaka.jp